

(公印省略)
医第2143号
令和2年12月8日

一般社団法人兵庫県助産師会 様

兵庫県健康福祉部健康局医務課長

令和元年兵庫県助産師活用推進事業報告会（オンラインシンポジウム）の開催について（ご案内）

平素は本県の看護行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県では、分娩施設が減少するなか、妊産婦の多様なニーズに応え、地域における安全、安心、快適なお産の場を確保するために、医師との協働のもと、助産師がその職能を活かして活躍することができるよう、助産師の資質向上に関する施策を実施しております。

このたび、昨年度に中止とした標記報告会について、下記のとおり開催する運びとなりました。

つきましては、ご多用のこととは存じますが、貴所属職員へ周知いただくとともに、参加についてご配慮いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和3年1月23日（土） 13:30～16:30
- 2 場 所 公益社団法人兵庫県看護協会
神戸市中央区下山手通5-6-24（TEL：078-341-0190）
- 3 内 容 兵庫県ホームページ「助産師活用推進事業について」参照
※別添実施要領のとおり
- 4 対 象 病院・診療所の医師、助産師、看護部長等管理者、看護教育関係者、行政関係者等
- 5 申し込み 別添チラシ裏面の「参加申し込み書」にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。
(締切り：1月8日（金） FAX：078-362-4267)

【問い合わせ】

兵庫県健康福祉部健康局医務課
医療人材確保班（看護指導担当）村上、服部
TEL：078-341-7711（内線3254）
FAX：078-362-4267

助産実践能力の向上による妊産婦への切れ目のない支援を考える —「令和元年度兵庫県助産師活用推進事業」報告会— 実施要領

1 目的

少子化や産科医師不足による分娩可能施設の減少、ハイリスク妊娠・分娩の増加など、周産期医療を取り巻く現状が大きく変化している。加えて、妊産婦の妊娠・出産・育児に対するニーズも多様化し、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するためには、医師との協働のもと、助産師の確保と資質向上及び活躍促進を図る必要がある。

そこで、本県において、助産師の実践能力向上等を目的とし展開してきた「助産師出向モデル事業」の令和元年度の事業成果を踏まえ、周産期医療における助産師の活躍による妊産婦への切れ目のない支援について検討する。

- 2 主催 兵庫県
- 3 共催 兵庫県看護協会
- 4 日時 令和3年1月23日(土) 13:30~16:30
- 5 場所 兵庫県看護協会(神戸市中央区下山手通5-6-24) ※Web対応研修
- 6 対象 病院・診療所の医師、助産師、看護管理者、看護教育関係者、行政関係者等
- 7 内容

I 基調講演 (13:35~14:15)

(仮)『助産師が生き活きと働き続けるために

～「院内助産」による助産師ケアの実践と活躍～』

講師：社会医療法人愛仁会 明石医療センター 看護科長 村田 佐登美 氏

II パネルディスカッション 報告者：各8分×6人

1) 助産師活用推進事業報告 (14:20~15:20)

- 本県の周産期医療体制の現状 兵庫県健康福祉部健康局長 味木 和喜子
- 病院間長期出向モデル 神戸大学医学部附属病院 副病院長兼看護部長 藤原 由佳
兵庫県立淡路医療センター 看護師長 野津 勝栄
- 病院・診療所出向モデル 姫路赤十字病院 助産師 (調整中)
看護副部長 太田 加代
益子産婦人科医院 院長 益子 和久

2) パネルディスカッション (15:30~16:10)

III 情報提供 (16:10~16:20)

「産後ケア事業の推進、取組みについて」 兵庫県健康福祉部健康局健康増進課

助産実践能力の向上による妊産婦への切れ目のない支援を考える

— 令和元年度兵庫県助産師活用推進事業報告会 —



少子化や産科医師不足による分娩可能施設の減少など、周産期医療を取り巻く現状は大きく変化し、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境を推進するためには、医師との協働のもと、助産師の確保と資質向上及び活躍促進を図る必要があります。そのような中、本県においては、平成28年度から「助産師出向モデル事業」(※1)を実施し、分娩介助件数の増加に加えて、搬送体制強化や業務改善などの成果を得ることができました。

この度、本事業の成果を踏まえ、周産期医療における助産師の活躍推進に寄与するため、本報告会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	令和3年1月23日(土) 13:30~16:30
場所	公益社団法人兵庫県看護協会 研修室1 (神戸市中央区下山手通5-6-24 TEL:078-341-0190)
開催	主催:兵庫県、共催:公益社団法人兵庫県看護協会
内容	<p>I 基調講演 (13:35~14:15) 座長:兵庫県看護協会 会長 成田 康子 (仮)『助産師が生き生きと働き続けるために ~「院内助産」による助産ケアの実践と活躍~』 講師:社会医療法人愛仁会 明石医療センター 看護科長 村田 佐登美</p> <p>II パネルディスカッション 座長:兵庫県看護協会 会長 成田 康子 1) 助産師活用推進事業報告 (14:20~15:20) ○本県の周産期医療体制の現状 兵庫県健康福祉部健康局長 味木 和喜子 ○病院間長期出向モデル 神戸大学医学部附属病院 副病院長兼看護部長 藤原 由佳 県立淡路医療センター 看護師長 野津 勝栄 ○病院・診療所出向モデル 姫路赤十字病院 助産師 (調整中) 看護副部長 太田 加代 益子産婦人科医院 院長 益子 和久</p> <p>2) パネルディスカッション (15:30~16:10)</p> <p>III 情報提供 (16:10~16:20) 「産後ケア事業の推進、取組みについて」兵庫県健康福祉部健康局健康増進課</p>
対象	病院・診療所の医師、助産師、看護管理者、事務職員、看護教育関係者、行政関係者等 約100名程度
申込み	裏面の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

<助産師出向とは>

※1 助産師出向とは、病院に就業する助産師の正常分娩の介助経験の減少、診療所の助産師不足という課題に対して、「助産師の就業場所偏在是正」「助産実践能力強化」等を目的に行うものです。



【問い合わせ・申込み先】

兵庫県健康福祉部健康局医務課
医療人材確保班(看護指導担当) 村上・服部
TEL:078-341-7711(内線3254)
FAX:078-362-4267

助産実践能の向上による妊産婦への切れ目のない支援を考える

—令和元年度兵庫県助産師活用推進事業報告会—

参加申し込み書 (R3.1.23) 締切り：1/8 (金) まで

FAX:078-362-4267

所属： _____ 電話番号： _____

代表者氏名： _____

ふりがな 氏名	職種	メールアドレス (Web参加のみ) ※O (ゼロ)、O (オー)、1 (イチ)、I (アイ)、- (ハイフン)、_ (アンダーライン) - (ハイフン) 等、間違えやすい数字等にはフリガナをお願いします。

※本報告会は、Web参加を原則とします。会場への直接参加をご希望の方については、ご相談に応じますので、ご連絡ください。

※前日までに、ご記入頂いたメールアドレスへ、参加用URL、ID・パスワード等を送信させていただきます。なお、各所属等、数名で聴講される場合は、メールアドレスは代表者のみで結構ですが、参加者全員の氏名は必ずご記入ください。開催方法の変更等、事務局から連絡事項がある場合については、頂いたメールアドレスもしくは電話にてご連絡いたします。

※会場での受講希望者について、当日はご自宅で検温し、発熱や感染に関連する症状がある等、体調がすぐれない場合は、出席を見合わせてください。また、来場時には、マスクの装着をお願いします。会場については、十分に座席を確保する、換気や消毒の徹底等、感染対策に努めます。

※個人情報の保護について、研修申込に際して頂いた情報は、本研修の目的以外には使用いたしません。